

わがまちまごめ

発行 大田馬込地区推進委員会
事務局 馬込特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎ (3774) 3301(代)
大田北地域行政センターホームページアドレス
<http://www.city.ota.tokyo.jp/kita/index.html>

受け継がれてきた民間信仰 馬込の散歩道 その二十二

私たちの住む馬込には、江戸の頃より庚申こうしん、念仏ねんぶつ、大山、富士、御嶽みづたけ、稲荷、題目と、人々の信仰の対象として「講」ができました。その中で、馬込で今日まで受け継がれている、念仏の集まりがあるとのことでした。訪問いたしました。

農村社会であった馬込の人々は、村や字を単位として講中をつくり、庚申、念仏の日、夕方から当番にあたった家に集まり、床の間や仏間に、青面金剛あざむすねや帝釈天たいしやくてんの絵像を掛け礼拝し、供物をそなえ、よちやま話をしました。一種の娯楽でもあり、村の諸々の相談事も行なわれてきました。

念仏講は、南無阿弥陀仏の六字名号を唱え、来世に極楽往生を願う人々の集まりで、江戸初期から日本全国各地に組織され、区内でも、全域にわたって分布しています。いづころからこの集団が出来たかは明確ではありませんが、区内の念仏講による、十七基の念仏供養塔が残されているので推定できます。

馬込では、曹洞宗である馬込萬福寺の檀徒と、真言宗である長遠寺・円乗院の近隣の檀徒が、一緒に念仏講をつくって、馬込のあちこちで、近所どうしの集会を行なってきました。昭和三十年ごろまでは続けられてきましたが、宅地開発による人口増と、農村から住宅地へと馬込が変わっていく中で、だんだん姿を消してゆきました。

また、念仏講と混在して、庚申講も行なわれていました。現在では、柴又帝釈天にお詣りして、庚申講の集まり

農村社会であった馬込の人々は、村や字を単位として講中をつくり、庚申、念仏の日、夕方から当番にあたった家に集まり、床の間や仏間に、青面金剛や帝釈天の絵像を掛け礼拝し、供物をそなえ、よちやま話をしました。一種の娯楽でもあり、村の諸々の相談事も行なわれてきました。

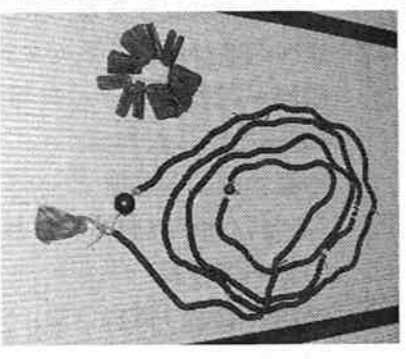
念仏講は、南無阿弥陀仏の六字名号を唱え、来世に極楽往生を願う人々の集まりで、江戸初期から日本全国各地に組織され、区内でも、全域にわたって分布しています。いづころからこの集団が出来たかは明確ではありませんが、区内の念仏講による、十七基の念仏供養塔が残されているので推定できます。

馬込では、曹洞宗である馬込萬福寺の檀徒と、真言宗である長遠寺・円乗院の近隣の檀徒が、一緒に念仏講をつくって、馬込のあちこちで、近所どうしの集会を行なってきました。昭和三十年ごろまでは続けられてきましたが、宅地開発による人口増と、農村から住宅地へと馬込が変わっていく中で、だんだん姿を消してゆきました。



農村社会であった馬込の人々は、村や字を単位として講中をつくり、庚申、念仏の日、夕方から当番にあたった家に集まり、床の間や仏間に、青面金剛や帝釈天の絵像を掛け礼拝し、供物をそなえ、よちやま話をしました。一種の娯楽でもあり、村の諸々の相談事も行なわれてきました。

念仏講の行事形態は、一般に念仏の長い期日を定めて毎日集まって唱和を数多く行なう百万遍念仏、一定する四八夜念仏、独特の節をつけて詠唱する六字話念仏、数個双盤ふたばんを打ちながら詠唱する双盤念仏、鉦かねや太鼓を用いた念仏などがあります。



かつて念仏講で使われた道具

昔は集まった人々が大きく車座に座り、全員で数珠を回し持った。今は使われなくなつた。

(上) 回数札 (上右) 畳の上に置かれた数珠と回数札

お盆とお彼岸の期間中に各一回の計三回と、通夜の時に行なわれているようです。

今年の七月十四日に、とあるお宅で十一名の念仏供養の集まりが行なわれ

馬込では、宗派に関係なく集まって、情報交換、親睦の場になつていきました。数珠、回数札とともに、本来は庚申講で使われていた青面金剛掛軸、帝釈天軸などを見せていただきました。供物、笹竹、鬼灯おにとうが飾られ、十一名の集団により、南無阿弥陀仏を四十四回、経文三回詠唱で休憩に入り、更に二十七回念仏詠唱、鉦を打ち鳴らし終りました。

経文は、歴史を背景にした人々の永遠の祈り、自季折々様々な表情を演出する自然。歴史を背景にした人々の永遠の祈り、自

願以此功德平等施 一切同発菩提心
光明遍照十方世界 念佛衆生攝取不捨
願以此功德平等施 一切同発菩提心



音頭取りが念仏を唱えながら、鉦(写真左)を打ち鳴らしている様子

馬込の安全、 安心を目指して

子どもが参加する行事の警備、交通整理などにも活躍しています。

M.S.Pは、平成十五年に発

足した馬込の住民によるボランティア団体です。これまでの自主防

犯パトロールの功績が認められ、

今年の五月に関東管区警察局長、

関東防犯協会連絡協議会から「特

別功労賞」を、七月には大田区交

通安全功労賞を受賞しました。

また八月五日に、東京都と警視

庁主催の「青色防犯パトロール」

推進キャンペーンの一環として行

なわれた青パトパレードに参加し

ました。都内各地の青パト約六十

台が集合し、新宿三丁目からスタ

ジオアルタ前までの新宿通りをパ

レードしました。

地域の安全は、住民自身を守る

時代。M.S.Pの活動に、より多

くの方の参加が望まれます。関心

のある方は、土曜日の夜八時三十

分に三本松交番または南馬込交番



お気づきですか？今年の夏頃から警視庁管内のパトロールカーの外装が少し変わりました。

まず、車体側面の「警視庁」という文字の下と、後部バンパーに「POLICE」とローマ字が入りました。前ドアには金色に輝くエンブレムも施されています。これらの見分けがつきにくかったのですが、道路標識のように光を強く



反射するため、夜間の視認性も向上しています。白黒の塗装は今ま

でどおりですが、印象は大きく変

わりました。

そこで、早速池上警察署の地域

課をお尋ねし、お話を伺いました。

開始は六月上旬頃からで、1メー

ジをより精悍にし、その存在感を

アピールすることにより、

多くを外国人が居住したり観光で

訪れています。漢字だけではな

く、ローマ字を入れることにより、

この変更は、警視庁の管内だけ

ですが、普段街で見かける白黒の

パトカーはすべて実施済みだそう

です。

なお、新しいデザインのパトカーは試験的な使用として、今年二月に開催された第一回東京マラソンの先導をしたとのことでした。

馬込情報

◎東京都功労者表彰

東馬込町会の紋谷宏前町会長が、町会長としての長きに渡る功労が認められ受賞されました。

◎和楽器を譲ってください

馬込中学校では、音楽の授業のなかで和楽器を使用する時間を設けています。箏や三味線を寄贈して

いただけける方、ご連絡ください。

◎地域の図書室

「えはら創樹文庫」

個人の家の一室に本がたくさんお

いてある、小さな小さな図書館で

す。ぜひご利用ください。

場所 北馬込一丁目32番3号

開設日時 毎週土曜日11時～15時

☎090-118581-3959 (古川)

◎第十五回まごめ幸福祭 9/24

園生たちの生き生きとした催し、

かつばに扮装しお神輿とともにま

ごめ園周辺をパレードする姿など

が見られました。最後には、地域

町会有志による郡上おどりも初登

場。園生、保護者、地域の方々との楽しい交流の輪が広がりました。

◎敬老の日の報告

馬込特別出張所管内の百歳以上の

男性一名、女性十名の合わせて十

一名の皆様を東京都、大田区、福祉

協議会からお祝いがありました。

◎龍子記念館 1/4～5月初旬

「龍子が描いた神仏」

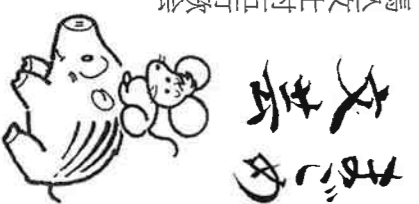
◎熊谷恒子記念館 1/4～6/26

「かなで迎える女流文学の世界」

◎郷土博物館

体験学習会「海苔つけ」 1/20

参加希望者は当日直接博物館へ



まごめ 文芸

馬込文士村五行歌会

水辺 灯子

友だち

先達に

めぐり逢える

この街は

気がして

私の

初夏の

故郷になった 馬込文士村を歩く

系玲

ゆとりなくつくる湯ごころ味わいき

栗原とし子

秋祭り笛の音にそえ虫の声

川上弘子

栗飯のあはき塩味賢治の忌

玉鳳

朝よりの空の鈍色神の留守

戸惑いて冬の双蝶舞の上

うす傘傘するよな秋時雨

千

赤き実や深まりゆきて枯いばら

西の市紬の父の袖握り

添い寝する子の柔らかさ冬日差す

編集後記

「念仏講」久しぶりに耳にした言

葉です。昔の話かと思つたらとん

でもない。馬込での念仏講は、現

在も続いているのです。何かと不

安な現代、警察や消防の出動の多

い昨今ですが、残されている民間信仰の輪の中に、人々の和と情報が脈々と波打っているようです。「隣りは何をする人ぞ」ではなく、仲の良い隣人でありたいもの。